

川下地区まちづくりニュース

令和6年度川下地区まちづくり協議会定時総会を終えて

去る5月12日に、令和6年度定時総会を終えました。会員総数99名、出席会員62名（うち委任状出席30名）で開催し、全ての議案について承認を頂きました。総会員数の1/3が出席、1/3が委任状提出、残る1/3が出欠票を提出していません。総会の成立には過半数の出席（委任状出席を含む）が必要です。会員のみなさまにおかれましては、総会成立のために、少なくとも出欠票の提出をお願い致します。

さて、少子高齢化やそれに伴う人口減少の傾向は、地方都市である当地区においては、ことさら深刻な問題となっています。先頃「人口戦略会議」が国内の全ての自治体の約4割が「消滅可能性自治体」とであると分析し公表しました。幸いにも岩国市は該当しておりませんが、その尺度となる「若年女性減少率」はボーダーラインに近い数値を示しております。

そのような状況下で、今後、どのようにまちづくりを進めていくか、という視点を持つことも必要となります。今後、急速な人口減少が進むことが予測されます。行政による公共施設の集約などの動きもすでに始まっています。そうした中で、まちづくりの活動を維持・継続していくためには、常に新しい世代の会員を取り込み、活動を活性化させながら、様々な世代の会員が世代を超えた議論を深めていく必要があります。

会員のみなさまには、これまで以上の協議会への積極的な参加をお願いし、様々な意見を聞かせて頂きたいと思っておりますので、引き続き、よろしくお願い致します。（川下地区まちづくり協議会 会長 八木 秀典）

楠中津線の街路樹について

平成31年に実施した住民アンケートを皮切りに、公園環境部会を中心として楠中津線の街路樹についての議論を重ねてきました。また、部会員以外の参加を広く募り、意見も頂いて参りました。街路樹の歴史や目的や機能、さらには管理上の問題点などについても議論を重ね、「まちづくり」の観点からの利活用についても考えてまいりました。また、市内各所の街路樹の見学会を実施し、それらを評価しながら、川下地区にふさわしい街路樹について検討を重ねました。その結果、下記の樹種を「まちづくり協議会案」として市へ提示したところです。



高木 【カツラ】 樹高10メートル~30メートルに育つ落葉広葉樹。四季折々の顔を持ち、美しい新緑や秋の紅葉、また落葉後は葉を逆さまにしたような美しい樹形が楽しめます。落葉はカラメルのような甘い香りを出すところから「コウノキ（香の木）」とも呼ばれます。植樹帯に約20メートル間隔で植えます。



低木1 【プリペット】 樹高1メートル程度の常緑広葉樹。耐寒性・耐暑性に優れ、湿度や乾燥にも強い環境適応性の高い木です。強剪定にも耐え、透かし剪定を行えば、植樹帯越しの歩行者も視認出来るでしょう。横断歩道や交差点のない区間に、横断防止の機能を期待して植えます。



低木2 【ハイバクシン】 ヒノキ科の常緑針葉樹で、ほふく性のため地に這うように生育します。グラウンドカバーとして用いられることの多い樹種でもあります。

横断歩道や交差点付近に、運転者、歩行者双方の視界を妨げぬように植えます。

楠中津線の第1期工事（楠交差点~川下供用会館付近）の開通を令和7年度末に控え、上記樹種を楠中津線の街路樹として準備を進めてまいります。（公園環境部会 八木 秀典）



トピックス

このたび、川下くすのき文庫（舘澄子代表）が、令和6年度「子どもの読書活動優秀実践団体」として、文部科学大臣表彰を受賞されました。おめでとうございます。

これからの各部会の活動 ～令和6年度の目標～

「公園・環境部会」「道路・交通部会」「にぎわい・交流部会」「広報部会」の各部会の活動方針や計画についてお知らせします。

公園・環境部会

すべての住民が安心して快適に暮らせる住環境について考え、官民協働の体制で改善に努めます。

- ★行政と情報共有を行いながら、公園整備のバリエーションについて考えます。
- ★街路樹との関わり方や利活用について考えます。
- ★円形花壇および防災備蓄センターの花壇の整備を行います。

にぎわい・交流部会

魅力あふれ、元気ある川下地区にするべく、地区特有の環境を活かした交流のためのイベント等を企画・実施し、地区住民の絆を深めます。

- ★地域で行われるイベント等に積極的に企画・協力します。
- ★国際交流事業を企画・実施します。
- ★グラウンド・ゴルフ大会を企画・実施します。
- ★未来へ残すべき「川下らしさ」を再認識するため、過去の写真等を収集・整理し、保存します。また、地域イベント等に合わせて展示を行い、賑わいの材料とします。(川下今昔写真館事業)

道路・交通部会

ひとも車も安心して通行できる道路交通環境に改善するための調査・研究を実施し、地区住民と協力しながら、人々が安全に住み続けられる道路交通環境づくり、水害に強いまちづくりに向けた取り組みを進めます。

- ★岩国市道路課と協働し、楠中津線および周辺道路の改善について、フィールドワークを行いながら意見交換を行います。
- ★狭あい道路整備の進捗や予定などの情報を収集しながらフィールドワークを行い、その結果を情報発信します。
- ★岩国市道路課と協働し、道路と排水構造物について調査・研究し、改善についてフィールドワークを行いながら意見交換を行います。

広報部会

まちづくり協議会の活動を会員及び地域住民に分かりやすく伝えるとともに、まちづくり協議会の各部会活動を積極的に支援します。

- ★ニュースレターを年3回発行します。
- ★まちづくり協議会の活動をタイムリーに会員へ発信します。
- ★ウェブサイトや Facebook ページの管理運営を行い、情報を迅速に広く発信します。
- ★リーフレットを会員拡大に活用します。

会員募集

自分たちの住む街をより良いものにしませんか。入会をご希望の方は下記まで。



「川下地区まちづくり協議会ホームページ」

<https://kawashimo.sakura.ne.jp/wp/>

川下地区まちづくり協議会

検索

みなさんのアイデアとやる気で
可能性無限大！
ご意見お待ちしております

《 協議会・連絡先 》

会 長 八木 秀典

電話: 0827(21)6241

事務局長 加藤 幹夫

電話: 0827(22)5481

